

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 化学物質等の名称

製品名	FastGene™ LB 培地スティック FastGene™ LB Broth Stick
製品番号	FG-LB50 (5g x 50 本)

1.2 化学物質等の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	試験研究用実験試薬
使用上の制限	専門ユーザー向け

1.3 提供者の詳細

供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽 1 丁目 4 番 14 号 後楽森ビル 18 階 電話番号: 03-3813-0961 ファックス番号: 03-3813-0962
供給者の緊急時連絡先	電話番号: 03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前 9 時から午後 5 時 30 分) E メール: info@genetics-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

2.1 化学品の GHS*分類

危険有害性項目	危険有害性区分/細区分
物理化学的危険性	区分に該当しない
健康に対する有害性	
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性	区分 2B
環境に対する有害性	区分に該当しない

2.2 GHS*ラベル要素

絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	
物理的危険性	物理的危険性のある物質又は混合物ではない。
健康有害性	H320: 眼刺激
環境有害性	環境有害性のある物質又は混合物ではない。
注意書き	
一般的な注意書き	特になし
安全対策	P264: 取扱い後は、手、前腕及び顔をよく洗うこと。
応急措置	P337+P313: 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。 P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
保管	特になし
廃棄	P501: 内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに業務を委託して処理すること。

FastGene™ LB 培地スティック

2.3 GHS*分類に該当しない、又は GHS*で扱われない他の危険有害性

NFPA*の表示システム(0-4)	H(健康危険性): -, F(燃焼危険性): -, R(反応危険性): -, 特定の危険:-
HMIS*の表示システム(0-4)	健康障害の危険: -, 火災の危険: -, 反応性: -, 特定の危険:-

3. 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別

単一製品・混合物の区別	混合物(下記を含む水溶液)
-------------	---------------

3.2 化学名又は一般名

	化学名又は一般名	CAS*番号	濃度又は濃度範囲
①	塩化ナトリウム/NaCl (Sodium Chloride)	7647-14-5	40%
②	トリプトン (Tryptone)	91079-40-2	40%
③	酵母エキス (Yeast Extract)	8013-01-2	20%

4. 応急措置

4.1 応急措置

暴露経路ごとの応急処置	
吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせること。
皮膚に付着した場合	直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流すこと。
眼に入った場合	直ちに流水で15分以上洗い流し、必要に応じて眼科医の処置を受けること。
飲み込んだ場合	直ちに水を飲ませること。 必要に応じて医師の処置を受けること。

4.2 その他の情報

応急措置をする者の保護	救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用すること。
-------------	-------------------------------

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤	水噴霧、粉末消火剤、二酸化炭素消火剤、乾燥砂、泡消火剤
使ってはならない消火剤	特になし
特有の消火方法	速やかに容器を安全な場所に移すこと。 移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却すること。 消火作業は、風上から行うこと。 初期の火災には、粉末・二酸化炭素消火剤、乾燥砂などを用いること。 大規模火災の際には、泡消火器等を用いて空気を遮断することが有効である。

5.2 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火を行う者の保護	消火作業の際は、必ず保護具を着用すること。
予防措置	データなし

5.4 その他の情報 : 特になし

FastGene™ LB 培地スティック

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

一般的措置	作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものが皮膚に付着したり、粉塵を吸入したりしないようにすること。
	風上から作業し、風下の人を退避させること。

6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。
	大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意すること。

6.3 封じ込め及び浄化の方法・機材

封じ込め方法	飛散したものは掃き集めて空容器に回収すること。
	飛散した場所は水で十分に洗い流すこと。

6.4 二次災害の防止策

二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備すること。
----------	-------------------------------------

6.5 その他の情報 : 特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策	皮膚に付いたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。
安全取扱注意事項	みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取扱うこと。

7.2 混触危険性を含む安全な保管条件

安全な保管条件	容器は密栓して冷暗所に保管すること。
安全な容器包装材料	ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど。
混触危険物質との分離	酸化剤と接触させないこと。

7.3 その他の情報 : 特定の最終用途は、項目 1.2 を参照すること。

8. 暴露防止及び人に対する保護措置

8.1 管理指標

管理濃度	設定されていない
産衛学会 許容濃度	設定されていない
ACGIH TWA*	設定されていない

8.2 設備対策

設備対策	粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置すること。
------	---------------------------

8.2 個人用保護具

呼吸用保護具	必要に応じて防塵マスクを着用する
手の保護具	不浸透性保護手袋を着用すること。
目の保護具	ゴーグル型保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	保護衣(長袖作業衣)、保護長靴、保護服等を着用すること。

8.3 特別な注意事項 : 特になし

FastGene™ LB 培地スティック

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質の情報

外観(物理的状態)	固体
色	淡黄色 - 淡褐色
臭い	無臭
pH	6.8 - 7.2
融点	データなし
凝固点	データなし
沸点	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
可燃性	可燃性固体
蒸気圧	データなし
相対密度	データなし
密度	データなし
相対ガス密度	データなし
溶解度	水:可溶
n-オクタノール/水分係数:log Pow*	データなし
爆発限界 (vol %)	データなし
動粘性率	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	酸化剤と接触すると反応することがある。
化学的安定性	通常の条件下では安定している。
危険有害反応の可能性	通常の使用条件下では安定している。
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、窒素酸化物
その他の情報	特になし

11. 有害性情報

11.1 有害性情報

危険有害性項目	分類結果	分類根拠・問題点
急性毒性(経口)	分類できない	—
急性毒性(経皮)	分類できない	—
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない	—
急性毒性(吸入:蒸気)	区分に該当しない	—
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	区分に該当しない	—
皮膚腐食性/皮膚刺激性	分類できない	—
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性	区分 2B (眼刺激)	塩化ナトリウム: 塩化ナトリウムの等張液に刺激性はないが、涙液中の濃度よりはるかに高い濃度の塩化ナトリウムは、目との接触時に刺痛感を引き起こす。また、ウサギ眼の試験で塩化ナトリウム結晶(10 または 100 mg の点滴注入)は、軽度または中等度の刺激を引き起こした。以上より、区分 2B とした。

FastGene™ LB 培地スティック

呼吸器感作性	分類できない	—
皮膚感作性	分類できない	—
生殖細胞変異原性	分類できない	—
発がん性	分類できない	—
生殖毒性	分類できない	—
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	分類できない	—
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	分類できない	—
誤嚥有害性 (吸引力呼吸器有害性)	分類できない	—

11.2 その他の情報 : データなし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

危険有害性項目	分類結果	分類根拠・問題点
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない	—
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない	—

12.2 残留性・分解性

残留性	追加情報なし	—
分解性	追加情報なし	—

12.3 生物蓄積性

生物蓄積性	追加情報なし	—
-------	--------	---

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性	追加情報なし	—
---------	--------	---

12.5 他の有害影響

オゾン層への有害性	分類できない	—
-----------	--------	---

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品及び残余廃棄物	多量の水で希釈して、pH を中性に調整し処理すること。
	内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに業務を委託して処理すること。
汚染容器及び包装	廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。
	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
	完全に空でない場合は、製品入り容器と同様に処分すること。
	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

13.2 その他の情報 : 特になし

14. 輸送上の注意

14.1 国際規制

海上輸送 (IMDG)

国連番号 (IMDG)	非該当
正式品名 (IMDG)	非該当
容器等級 (IMDG)	非該当
輸送危険物分類 (IMDG)	非該当

航空輸送 (IATA)

国連番号 (IATA)	非該当
正式品名 (IATA)	非該当
容器等級 (IATA)	非該当
輸送危険物分類 (IATA)	非該当

14.2 国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従うこと。
航空規制情報	航空法の規定に従うこと。
陸上規制情報	毒物及び劇物取締法、消防法、高圧ガス保安法、道路法の規定に従うこと。

14.3 MARPOL 73/78* 付属書 II 及び IBC Code* によるばら積み輸送される液体物質 : 本製品には該当しない。

15. 適用法令

① 塩化ナトリウム/NaCl (Sodium Chloride) (CAS*番号: 7647-14-5、濃度: 40%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

FastGene™ LB 培地スティック

② トリプトン (Tryptone) (CAS*番号:91079-40-2、濃度:40%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
悪臭防止法	非該当
土壤汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

③ 酵母エキス (Yeast Extract) (CAS*番号:8013-01-2、濃度:20%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
悪臭防止法	非該当
土壤汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0052)

FastGene™ LB 培地スティック

葉機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

16. その他の情報

弊社が販売する試薬類は、試験研究用途向けに限定して販売しております。製品を取り扱う前に取扱説明書等を熟読し、専門知識のある技術者、研究者がご使用ください。本 SDS 情報は、徹底的な調査及び/または研究によって得られたものであり、推奨は専門的判断の慎重な適用に基づいています。また包括的とみなされるのではなく、ガイドとしてのみ使用されるべきものです。全ての物質及び混合物には、未知の危険性があるため注意して使用する必要があります。当社では、実際の方法、量、使用条件等を管理することができないため、本書に記載されている取扱いまたは製品との接触に起因する損害賠償責任は一切負いません。本 SDS の情報は、市場性や特定目的適合性の黙示の保証を含め、明示的にも黙示的にもいかなる保証をするものではなく、また品質を特定するものでもありません。

略語

- ACGIH (American Conference of Governmental Industrial Hygienists): 米国産業衛生専門家会議
- CAS (Chemical Abstract Service): ケミカル・アブストラクト・サービス
- GHS (The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals): 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
- HMIS (Hazardous Materials Identification System): 危険有害性物質識別システム
- IATA (International Air Transport Association): 国際航空運送協会
- IBC Code (International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Dangerous Chemicals in Bulk): 危険化学品のバラ積み運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則
- IMDG (International Maritime Dangerous Goods): 国際海上危険物規程
- log Pow/log Kow (octanol/water partition coefficient as logarithm): オクタノール/水分配係数の指数値
- MARPOL (International Convention for the Prevention of Marine Pollution from Ships) 73/78: マルポール条約/1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978の議定書("MARPOL"=marine pollution/海上汚染)
- NFPA (The National Fire Protection Association): 全米防火協会
- TWA (Time Weighted Average): 時間加重平均値(通常の1日8時間、週40時間労働の時間荷重平均濃度)

引用文献及び参照ホームページ等

- JIS Z 7252: GHS に基づく化学品の分類方法
- JIS Z 7253: GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
- 化学物質規制・管理実務便覧(化学物質管理実務研究会編集、新日本法規出版株式会社出版)
- NITE 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/srhInput
- ezCRIC+ (日本ケミカルデータベース株式会社)

以上